

コバヤシ 11.6.28 部長

白い恋人®で採用

でんぶん臭も解決し、さらに展開

プラスチック総合企業のコバヤシ(東京都台東区、03-3865-5500)が提案している植物のでんぶんを加工した新素材「バイオマスでんぶん」が、熱可塑性でんぶんとは異なる性質を持つため、シート、ペレット、フィルムなど採用アイテムを増やし、広がりを見せている。

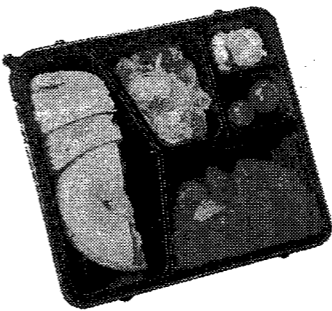
循環型社会、石油資源削減の取り組みが各企業で行われている中、特に注目が集まっている植物由来樹脂。トモロコシ由来のPLAや、サトウキビからエタノールを取り出したバイオPEなど、容器包装の分野で徐々に広がりを見せている。同素材もこれらと同様に植物を主原料とする新素材で、熱可塑性でんぶんを主原料とする熱可塑性でんぶんとは異なる性質を持つため、シート、ペレット、フィルムなど採用アイテムを増やし、広がりを見せている。

(札幌市が製造し、北海道銘菓として有名な「白い恋人」の中トレとして採用された。さらに同社では、山形大学工学部(西岡昭博准教授、宮城県産業技術総合センター(鈴木康夫所長)と連携し共同開発を行い同素材のさらなる展開を目指している。

容器法や高騰する石油価格などコスト面や、環境対応素材としてもメリットの大きい樹脂として今後の展開が期待される新素材だ。

フィルム、容器・シート、関連資材・原料

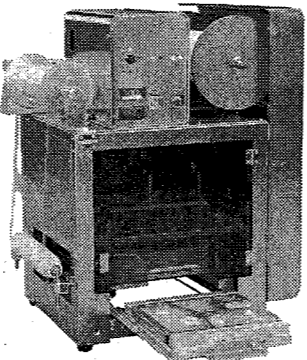
ジャック



離すことができるフィルムをシールした。これにより名称通り、傾けたり、逆さまにしても弁当中身が混ざらない。

中身が混ざらない弁当容器

新たな販売スタイルの提案も可能



専用のシーリングマシン

デザイナー・企画・マーケティングなどの提案を行っているジャック(東京都渋谷区、03-6312-5094)は、需要が高まる弁当市場に参入するため、新タイプの弁当容器「マザラン」の製造・販売パートナーを募集している。

同容器は中仕切りを工夫し、蓋材にはOPP素材の透明蓋ではなく、容易に剥

「スープやカレーなど中身が混ざったり、運搬中の汗漏れが懸念されていたメニューにも使用することができ

冷凍保存が可能な耐寒性や、電子レンジでの保温、加熱が可能な耐熱性を備える。専用のシーリング機を導入すれば、中小規模の弁当製造・販売業者の宅配販売といった展開も可能だ。透明蓋を使用しないので積み重ねやすさも高い。

輸送や移動のコストを下げ、冷凍保存も容易であるため、不良在庫の減少にもつながる。

また、同社では製品開発において企画案をもとに、商品のイメージ化を行うサービスも提供しており、製品開発に掛かるコストの削減につながる。

ダイセルパックシステム

高機能パッケージ3種を提案

多機能素材、バイオプラなど

化粧品展で大きな反響

ダイセルパックシステム(東京都千代田区、03-5209-7904)は、多様な高機能パッケージを提案・供給している。

特に、5月25日からパシフィコ横浜で開催された「第5回化粧品産業技術展」では、ダイセルグループ3社とともに、メイクアップに欠かせない高機能パウダー(ダイセル・エポニック製)などの原料からパッケージに至るまでをソリューションとして提案し、大きな反響を呼んだ。

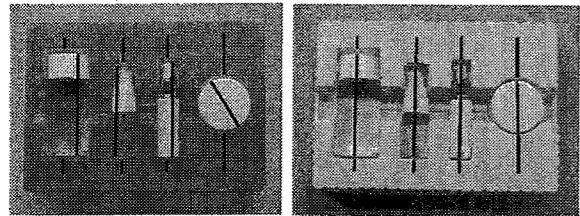
パッケージのソリューションとして特に提案したのが、「セルピーチ」「エコファンタジー」「グランアクア」の3製品。

「セルピーチ」は、高級感と機能性を兼ね備えたオリジナル多機能素材で、化粧品包装用トレーなどとして使用される。マットな質感と手にしっとりする感触で、高級感を演出する。

同時に、輸送中などでも商品がトレーの中で回転せず、商品の「顔」であるラベルが常に前を向き美しい状態

で顧客に製品を提供することができ、商品価値を固定できるため傷が付きにくいなど、商品価値の向上が図れる。「エコファンタジー」は、植物由来の樹脂を原料としており、一般的なプラスチック材料よりもCO₂排出量を削減できるなど環境配慮性に優れている。130度Cまでの耐熱性

輸送テスト後



従来のトレ

セルピーチ

「セルピーチ」は輸送時に、従来素材のトレと比べて回転しにくく、すれにくい。

と、ポリ乳酸の12倍という耐衝撃性も備えている。「グランアクア」は

関西パック工業会

関西パック工業会(会長 柏木大造氏)は6月17日、平成23年度研修会を開催した。「パナソニックミュージアム松下幸之助歴史館」を見学後、場所を移して懇親会も行われ、会員・賛助会員の多くが参加した。

研修会では、まず大阪府門真市にある「パナソニックミュージアム松下幸之助歴史館」を訪ね、創業50周年を記念して1968年に開館された館内には、創業者である松下幸之助の減少にもつながる期待が掛かる。

また、同社では製品開発において企画案をもとに、商品のイメージ化を行うサービスも提供しており、製品開発に掛かるコストの削減につながる。

平成23年度研修会を開催

松下幸之助歴史館を見学

研修会



あいさつする松

氏の生い立ちから事業の歴史映像、商品写真、特別展記録ビデオなどの、さまざまなコンテンツが展示。幸之助氏が熱い情熱を傾けてきた事業発展の歴史と生涯が紹介された。

次いで大阪市天王寺区の本テラアウイナ大阪において懇親会を開催。始めに柏木会長があいさつを行い「幸之助氏は経営哲学、人間像など、すべてにおいて

第39回定時総会を開催

アルミ缶リサイクル協会

新理事長に藤原孝雄氏が就任

アルミ缶リサイクル協会(東京都港区、03-3582-0975)は、6月16日に千代田区の如水会館で第39回定時総会を開催。新理事長に藤原孝雄氏が就任した。

総会後は、平成22年(09年)度飲料用アルミ缶リサイクル率などの調査結果、平成23年(10年)度アルミ缶リサイクル協会事業活動計画および3R推進団体連絡会活動などについて、報道関係者向けに報告会が開催された。

改正容器リサイクル法のもとで、アルミ缶リサイクル協会を含む連絡会の一員として、積極的に3R推進に取り組むことを掲げ、この目標に取り組みしていくこと

アルミ缶リサイクル協会(昭和アルミニウム株式会社代表取締役社長)に就任した。副理事長に前理事長の太田拓夫氏(ユニバーサル製缶株式会社代表取締役社長)が就任した。

総会後は、平成22年(09年)度飲料用アルミ缶リサイクル率などの調査結果、平成23年(10年)度アルミ缶リサイクル協会事業活動計画および3R推進団体連絡会活動などについて、報道関係者向けに報告会が開催された。

改正容器リサイクル法のもとで、アルミ缶リサイクル協会を含む連絡会の一員として、積極的に3R推進に取り組むことを掲げ、この目標に取り組みしていくこと



あいさつする新理事長の藤原孝雄氏